

【A年】

顕現後第二主日

全能の神よ、あなたは永遠のみ言葉であるみ子の受肉のうち
に、まことの道を現されました。どうかわたしたちを導き、
全人類の救いのもとである主に、すべてをゆだねさせてくだ
さい。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配してお
られる主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第四十九章一節から」

1 島々よ、わたしに聞け
遠い国々よ、耳を傾けよ。
主は母の胎にあるわたしを呼び
母の腹にあるわたしの名を呼ばれた。

2 わたしの口を鋭い剣として御手の陰に置き
わたしを尖らせた矢として矢筒の中に隠して
3 わたしに言われた

あなたはわたしの僕、イスラエル

あなたによってわたしの輝きは現れる、と。

4 わたしは思った

わたしはいたずらに骨折り

うつろに、空しく、力を使い果たした、と。

しかし、わたしを裁いてくださるのは主であり
働きに報いてくださるのもわたしの神である。

5 主の御目にわたしは重んじられている。

わたしの神こそ、わたしの力。

今や、主は言われる。

ヤコブを御もとに立ち帰らせ

イスラエルを集めるために

母の胎にあつたわたしを

御自分の僕として形づくられた主は

6 こう言われる。

わたしはあなたを僕として

ヤコブの諸部族を立ち上げらせ

イスラエルの残りの者を連れ帰らせる。

だがそれにもまして

わたしはあなたを国々の光とし

わたしの救いを地の果てまで、もたらす者とする。

7 イスラエルを贖う聖なる神、主は

人に侮られ、国々に忌むべき者とされ
支配者らの僕とされた者に向かって、言われる。
王たちは見て立ち上がり、君侯はひれ伏す。
真実にいますイスラエルの聖なる神、主が
あなたを選ばれたのを見て。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱えます。

第四十編 一十節

- 1 わたしは切に主を呼び求め＝ 神は、耳を傾けてわたし
の叫びを聞き入れられた
- 2 滅びの穴、泥沼からわたしを引き上げ＝ 足を岩の上に立
たせ、歩みを確かなものとされた
- 3 神はわたしの口に新しい歌、わたしたちの神への賛美の歌
を授けられた＝ 多くの人はこれを見て畏れ、主を頼みと
するようになる
- 4 幸いな人は主に信頼し＝ むなしい偶像や偽りの神のも
とに走らない

- 5 わたしの神、主よ、あなたは多くのことをしてくださった。
その不思議な業と計らいは、わたしたちのため＝ あな
たに並ぶものはいない
- 6 わたしがそれを告げ知らせても＝ すべてを語り尽くすこ
とはできない
- 7 あなたはわたしの耳を開かれた。いけにえと供え物を喜
ばれず＝ 燔祭と罪祭のいけにえをわたしに求められない
- 8 そのときわたしは言った、「わたしはここに来ている＝
わたしのことは巻物の書に記されている
- 9 わたしの神よ、み旨を行うことはわたしの喜び＝ あな
たの律法はわたしの心に刻まれている」
- 10 わたしは人びとの集いであなたの救いのみ業を告げ知らせ
＝ 決して口を閉じることがない。主よ、あなたはそれを
知っておられる

使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒への手紙Ⅰ 第一章一節
から」

- 1 神の御心によつて召されてキリスト・イエスの使徒と
なったパウロと、兄弟ソステネから、² コリントにある神

の教会へ、すなわち、至るところでわたしたちの主イエス

・キリストの名を呼び求めていてるすべての人と共に、キリスト・イエスによつて聖なる者とされた人々、召されて聖なる者とされた人々へ。イエス・キリストは、この人たちとわたしたちの主であります。3 わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

4 わたしは、あなたがたがキリスト・イエスによつて神の恵みを受けたことについて、いつもわたしの神に感謝しています。5 あなたがたはキリストに結ばれ、あらゆる言葉、あらゆる知識において、すべての点で豊かにされています。

6 こうして、キリストについての証しがあなたがたの間で確かなものとなったので、7 その結果、あなたがたは賜物に何一つ欠けるところがなく、わたしたちの主イエス・キリストの現れを待ち望んでいます。8 主も最後まであなたがたをしつかり支えて、わたしたちの主イエス・キリストの日に、非のうちどころのない者にしてください。9 神は真実な方です。この神によつて、あなたがたは神の子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられたのです。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第一章二十九節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

29 その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。30 『わたしの後から一人の人が来られる。その方はわたしにまさる。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。31 わたしはこの方を知らなかった。しかし、この方がイスラエルに現れるために、わたしは、水で洗礼を授けに来た。32 そしてヨハネは証した。『わたしは、『霊』が鳩のように天から降つて、この方の上にとどまるのを見た。33 わたしはこの方を知らなかった。しかし、水で洗礼を授けるためにわたしをお遣わしになった方が、『“霊”が降つて、ある人にとどまるのを見たら、その人が、聖霊によつて洗礼を授ける人である』とわたしに言われた。34 わたしはそれを見た。だから、この方こそ神の子であると証したのである。』

35 その翌日、また、ヨハネは二人の弟子と一緒にいた。36
そして、歩いておられるイエスを見つめて、「見よ、神の小羊
だ」と言った。37 二人の弟子はそれを聞いて、イエスに従つ
た。38 イエスは振り返り、彼らが従つて来るのを見て、「何
を求めているのか」と言われた。彼らが、「ラビ——『先生』
という意味——どこに泊まっておられるのですか」と言う
と、39 イエスは、「来なさい。そうすれば分かる」と言われた。
そこで、彼らはついて行って、どこにイエスが泊まってお
られるかを見た。そしてその日は、イエスのもとに泊まった。
午後四時ごろのことである。40 ヨハネの言葉を聞いて、イ
エスに従った二人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟
アンデレであった。41 彼は、まず自分の兄弟シモンに会つ
て、「わたしたちはメシア——『油を注がれた者』という意味
——に出会った」と言った。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」